

京都教区 第16回 宣教司牧評議会

京都教区の地区制と共同宣教司牧ブロックの再編成について その3

司教 大塚喜直

京都教区が取り組んでいる小教区の適正配置にともない、2016年4月からの地区制とブロックの再編について、お知らせします。

◎これまでの経緯と現状

1. 「奈良ブロック」と「滋賀ブロック」

「奈良地区」と「滋賀地区」は、2014年1月から(会計年度の開始から)、それぞれの2ブロックを1つのブロックに統合しました。

また、地区会計は解消し、ブロック会計のみとなっています。

(司牧者の車の費用・交通費等はブロック会計から支出することになっているため)。

2. 京都南部地区

2016年からの10年間で、現存する教会を可能な限り存続させつつ、ブロック内の小教区を統合して、各ブロックを1つの小教区にすることを目指す、「京都南部地区4ブロックの小教区統合計画」を始めます。

3. 京都北部地区

1) **舞鶴ブロック**の福知山・綾部・報恩寺の3教会が統合し、JR福知山駅前に、聖堂と聖テレジア幼稚園が完成し、本年2015年4月1日「カトリック福知山教会」が発足しました。

(教会堂名は、「聖家族聖堂」)

そして、「報恩寺記念聖堂」と、「綾部祈りの家」と改称しました。

2) **宮津ブロック**

宮津ブロックの6つの小教区は統合して、2016年4月1日に、「カトリック丹後教会」が発足します。

各聖堂は、宮津教会堂、加悦教会堂、網野教会堂と、岩滝礼拝堂、丹後大宮礼拝堂、峰山礼拝堂と、改称します。

なお、主日のミサは2か所、宮津教会堂 と 網野教会堂で、行われます。

◎ 京都北部地区のブロック統合

2016年4月からの京都北部の小教区は、**東舞鶴、西舞鶴、福知山、丹後**の4つの小教区となり、「舞鶴ブロック」と「宮津ブロック」を1つのブロックとします。

名称は、「**京都北部ブロック**」となります。

これにともない、京都北部地区会計は、**ブロック会計のみ**となります。

◎ 2016年ブロック再編

したがって、2016年のブロック数は、以下の通り、**9ブロック**となります。

	(現 行)
京都北部地区	: 1 ブロック
京都南部地区	: 4 ブロック のまま
奈良地区	: 1 ブロック
滋賀地区	: 1 ブロック
三重地区	: 2 ブロック
(計)	: 9 ブロック

◎ 「ブロック」と「地区協議会」について

- ブロックの再編によって「京都南部地区」と「三重地区」以外は、「地区」=「ブロック」となります。「京都南部地区」と「三重地区」以外は、地区会計が解消し、ブロック会計となります。
- 事実上、地区の協議会も解消します。「ブロック会議」のみが、決定機関となります。
- これまでの「地区協議会」として活動(例、地区の宣教課題、外国籍信徒への対応、青少年司牧、地区企画の研修(聖書講座、典礼研修会)、地区合同堅信式、など)は、「ブロック」としての活動が基本となります。(例:カトリック〇〇ブロック主催。「京都南部地区」と「三重地区」は、「〇〇地区主催」としてください)

以上